

## 業務改善の実施状況報告

組織名	関東森林管理局 伊豆森林管理署	連絡先	0558-74-2522
所管する業務の概要	国有林野の管理経営、民有林の森林整備等の指導、治山事業の実施等		

1 職員の基本的な心構え・行動について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組実績及び現在実施している取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の課題とその改善策</li> </ul>
<p>(1) 業務における心構え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出署日等において、①挨拶が接遇の基本であること、②来客者や電話等の問い合わせには誠意をもって対応すること、③地元からの要望等があった場合には、その背景も聞き取り丁寧に対応すること、等について指導している。</li> <li>人事評価制度については、評価者と被評価者の面談により業務目標の共有化が図られている。</li> </ul> <p>(2) 国民の意見に対する姿勢</p> <p>地元からの要望については、その背景も含めて丁寧な対応に心がけている。</p> <p>(3) 国民への情報提供姿勢</p> <p>開かれた国民の森林の実現に向けて、森林環境教育や地元自治体等との連携したイベント等を実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来客者に対しては、今後においても職員から先に挨拶することとし、電話等の問い合わせには丁寧な対応に努め、全職員が窓口対応の意識をもつようにするなど、スムーズな接遇となるよう心がける。</li> <li>今後とも人事評価制度に基づき適切に実施する。</li> <li>引き続き適時適切な対応に心がける。</li> <li>参加者に趣旨や内容が分かるような資料となるよう工夫しているが、更に検討・工夫する。</li> </ul>

2 国民視点に立った業務の遂行について	
これまでの取組実績及び現在実施している取組	今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 政策のニーズ等の把握に向けた取組 国有林に対する要請等が多様化していることから、各種協議会や会議等を通じてニーズの把握に努めている。</li> <li>(2) 各種部署との連携強化のための取組 業務実行や地元対応に係る情報や懸案事項については、随時打ち合わせを通じて共有化を図っている。</li> <li>(3) リスク管理 災害発生時にはマニュアルに沿った迅速な対応ができるよう随時指導している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 把握したニーズについては、職員間で情報共有しているが、更なる適切な対応に努める。</li> <li>・ 引き続き情報の共有化に努める。</li> <li>・ 昨年の地震災害に続き、本年度も集中豪雨による災害が発生したが、緊急時の連絡や現地調査等について迅速な対応を行った。今後においても迅速な対応に努める。</li> </ul>

3 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
これまでの取組実績及び現在実施している取組	今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場と連携して業務の進捗を把握する必要があることから、現場からの報告に基づく業務の平準化を推進。</li> <li>・ 出署日に全職員でフリートーキングの実施や森林官と署長との意見交換の場を設けるなど、自由に意見を言える雰囲気を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務の優先順位をつけて計画的処理を推進する。</li> <li>・ 今後は、課題を設定して議論や意見交換ができる場を設けるなどにより、引き続き自由に意見を言える雰囲気作りに努める。</li> </ul>

4 その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
<ul style="list-style-type: none"><li>これまでの取組実績及び現在実施している取組</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>今後の課題とその改善策</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>各種イベント等の情報をHPに掲載する場合や、各種説明会や外部との打ち合わせで使用する資料については、見る側聞く側に立った内容となっているか複数の者でチェックを行っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>日常、当然の感覚で使用している言葉や表現が、一般国民を対象とした説明会等では、相手方からすれば一方的・高圧的に感じられる面が多々あることを踏まえ、国民目線に立った資料となるよう努める。</li></ul>